

宮城伸子氏（知念中学校長）を講師に「琉舞」のクラブ活動スタート

沖縄の文化にふれる機会とするため、前期のクラブ「琉舞」が、宮城伸子氏（南城市立知念中学校長）を講師に、7月2日にスタートしました。

クラブ「琉舞」が初めての教育研究員の皆さんは緊張気味でしたが、丁寧にかぎやで風を教えてください、宮城校長先生のおかげで、2番まで踊れるようになったようです。

【クラブ 琉舞の概要】

「かぎやで風」

- 1 基本 扇子の持ち方、すり足等
- 2 かぎやで風1番の練習
- 3 かぎやで風2番の練習

【教育研究員の感想】

クラブ琉舞では、基本的な扇子の持ち方やすり足の仕方など丁寧に教えていただきました。すり足や股関節を曲げることを意識しながら歩くと動きがぎこちなくなり、変な歩き方になってしまいました。また、手の動きと足の動きを合わせるのが難しいなと感じながらも、1度だけ踊った経験があるので、思い出しながら取り組みました。音楽と動きを合わせるのが難しく、曲が分かればそれにあわせて踊ることができるのかなと感じました。クラブ琉舞は3回しかないので、その間にマスターできるように頑張りたいと思います。（金城さくら）



写真1 活動の様子



写真2 講師を囲んで

初めてのクラブ琉舞がありました。今まで「かぎやで風」の踊りを見たり、曲を聴いたりすることはあったのですが、実際に自分が踊るのは初めてなので緊張しました。

最初にすり足と扇子の持ち方から練習を行ったのですが、意識しすぎて逆にぎこちなくなりました。でも、練習を続けていくうちに少しずつぎこちなさはなくなっていったと思います。今はカウントにあわせて踊るのに精一杯で曲を聴きながら踊れていないので、次回は曲を聴きながら踊れるようになりたいと思います。（大城厚）

宮城伸子先生によるクラブ琉舞①がありました。「かぎやで風」を教わりました。琉舞は、動作がゆったりしているのに、ついていくのが大変でした。また、扇子を持つ手や背筋を伸ばしての中腰の姿勢に集中するあまり、体のいろんなところに痛みを感じ、普段から姿勢良く生活しようと思いました。歌詞も覚えて聞き取れるくらいになり、全3回で覚えられるように頑張りたいと思います。（長門照乃）

クラブ琉舞で初めてかぎやで風を踊ったのですが、思っていたより難しかったです。先生を見ながらだと、何とか踊れるのですが、自分達だけではまだ踊れません。「クラブ琉舞」は全部で3回しかないので、次までに今日の事を忘れないように、自分で練習をしてみたいと思いました。（具志堅智美）

今日のクラブでは、自身初の琉球舞踊だったので、こちらは不安がりましたが、やっていくうちに楽しくできました。体の固さを痛感しました。あと2回しかありませんが、できるだけのことを身につけたいと思います。（古屋誠一）